

# 白神山地 フリーマーケット

## 6月21日(日)

### 10時～15時

場所：ホテルゆとりあ藤里  
第2駐車場

ご自宅に眠っている不用品や自慢の手作り作品など、ご家族やお友達と参加してみませんか？

**出店者募集中**  
**お宝あるかも!?**

- 出店料 1区画 100円
- 出店申込み  
ホテルゆとりあ藤里  
0185-79-1070 (白土)
- お問合せ / 主催  
湯の沢温泉協議会  
090-4553-4977 (塚本)

10月まで毎月開催予定です。詳細は別途ちらし、またはお電話にて。

## ごめんください! 琴町・松岡工房さん

協力隊の二人で松岡工房さんにお邪魔して、木工体験をさせていただきました。ブナの木を使った温度計には、ブナの実や花や枝を付けています。ブナのいろいろな部分を見てほしいという気持ちが込められているそうです。松岡さんの作品は、森のえきにもあります。

土台の木にブナの実や花や枝を付けてからニスを塗ります



ボンドだけで固定できないときは電動ドリルが登場



# おいしい給食

第9回全国学校給食甲子園にて、日本一に輝いた藤里町の給食。そんな給食がつけられているところと食べているところ取材してきました。

# いただきます



# とじこじ

藤里の暮らしをゆつくりじっくり楽しむ情報紙

《発行》  
地域おこし協力隊  
@かもや堂  
電話 0185-74-5668  
〒018-3201  
藤里町藤琴字藤琴 55

栄養面はもちろん

町で採れる食材、旬の食材をなるべく使って

季節の行事などにも合わせて

山菜や煮付けなど、昔からの料理も好きになってほしいな

調理員さんの作業量も考えて子どもたちの将来のために



栄養士の津谷先生は、いろいろ考えて献立をつくりまします。



小学校のすぐ隣にあります

藤里町の給食は、給食センターでつくられています。小・中学校、幼稚園の児童と教職員合わせて約270名分の給食です。

藤里町の給食がつくられて 子どもたちの口に入るまで...



出来上がった給食は、それぞれに運ばれていきます。今回は、藤里小学校の一年生と五年生にご協力いただきました。



それをつくるのが、6人の調理員さん。大人数分の調理はけっこうな力仕事ながら、万が一に備えて徹底した衛生管理を行なっています。

\*今日の献立\*  
ごはん、鮭のピカタ、  
こんぶの煮付け、  
豚汁、牛乳



ごちそうさまでした!

好きなメニューは？  
豚肉のかりんとうあげ、カレー、ラーメン、うどん、フルーツ白玉、コーンコロッケ、わかめごはん、赤飯、舞茸ごはん、もずくスープ、グリーンポター、人參ポター、ジュ、冷凍みかんりんごパン、ナン、タコライス、ハヤシライス... などなど。

**石橋談義**

藤里町の人口の増減を調べてみると、今から二百年ほど前の文化年間には4283人が住んでいた。「明治の大合併」(一八八九年)時は5914人。そしてピークは「昭和の大合併」時(一九五五年)の9599人。ここから下降線を辿り、現在はその三分の一ほどの3592人(四月三十日)。秋田県でもワーストワンの減少率である◆全国の山村の人口は、わが町のように、有史以来ほとんど静かな右肩上がりの状態で進み、戦後の混乱期が過ぎると急降下をはじめ、大きな潮流となって地方を襲い、いまやそれを食い止める手立てはない。最近では地方創生などの声もあるが、それも大きな期待を寄せる対策でもない。いずれ二十五年後のわが町の人口は1577人と予想されている(創生会議分科会報告書)◆終戦直後の頃までは、田植時期になると「猫の手」も借りたほど忙しく子どもたちも小苗打ちなどに動員され、タバコ(休憩)になると早乙女などの笑い声が田園いっぱい広がった。そんな中をガソリンカー(軌道車)が丸太を沢山積んで行く。時間はゆっくり流れても各集落には活気が溢れていた。だが今日の農山村の荒廃はこの水田や山林にあるともいう。だとしたらそれを逆手に山林産業などの再構築を本気で手がけたらどうか。(F)

聞き書き 第2回

高石沢・山田弘一さん

# 四十年住めば、自分も藤里の人って気持ちだ



山田弘一さん  
(昭和二十一年 新潟県生まれ)

新潟県上越市高田出身、茨城県石岡市育ち。東京で車の整備士をし、結婚を機に移住。現在パートでふじみやドライバー&NPO ふじさと元気塾理事など地域活動に参加中。愛称ヤマコウ。



木の切り出しから建てたログハウス

### 東京から藤里へ

東京の家が空襲で焼けただった。おふくろの実家、新潟県上越市高田でとこで産まれた。横倉みち子とこだな。その後親父の実家のある茨城県石岡市で中学まで育った。五人兄弟の上から三番目。長男だ。その後、東京に出て車の整備やっていた。同じ会社の先輩で仲間に、二ツ井の荷上場出身の人いたの。その人が俺のこと見込んだんだな(笑)。いとことお見合いしてみないかと。俺も東京にずっと暮らして、これから結婚して生活するのは、田舎がいいなと思ってた。三十歳で目覚めた(笑)。で、来てみねえがと。

スがいるからお見合いしてみねえが、という話だった。ドキドキ胸が高鳴って、というのもある(笑)。準備ミスはいいじゃない(笑)。奥様談。

で、上野から正月の一日か二日に乗ったのかな。仕事終わって夜行列車の津軽に乗って、列車はいっぱいで、四人掛けのひとつに座らせてもらって、酒ごちそうになって、福島あたりまで来たのがな。俺何にも持たなくて、荷上場に持っていくお土産出さなかったんだ。で、かなり飲んで酔っ払って身支度に時間がかかって二ツ井で降りる予定が鷹巣まで行ってしまった。駅から公衆電話で電話したな。これが秋田に来た第一歩だ(笑)。雪がおもしろかったな。その時、ロングヘアでダブルの背広来て、高い靴はいて、スノーダンプで雪かきした。今でも記憶がよみがえるな。結婚はそれでも、俺で良かったら、おふくろは雪深い雪国育ちだから、秋田で暮らせるか心配はあったみたいだ。それから東京戻って半年くらい、五十一年の六月に引越して、結婚式をあげた。

### 地域の人とつながって

来た当初は言葉がわからなくて、三十でホームシックになつた。仕事はわかるけど、言葉がわからなくて話さないうか難儀したな。でかす(完成させる)、とか。あと、車買った時「いちのこめに」って言われて、一の米?新米を売って買ったって意味か?古米は二の米か?って思ったりしたな(笑)(いちのこめはいつの間にか)。

今は俺も神奈川の姉にずいぶんなまったわね、と言われる。

そんな中で、朝野球に誘ってくれる人がいて、地域の人と関わりができて、仲間ができた。中通カール三代理監督もやった。何が大きくなって、朝五時半集合とかだとメンバー寝てるわけ。携帯もないし、球場の近くの公衆電話でみんなを起す係だったな(笑)。

消防団も入ったな。三十五歳のとき、近所の人やめるってんで、昔は人勧誘するの、一升瓶持ってくるんだ。酒飲ませて承諾させるって。PTA会長の時は酒と寿司だったかな。かみさんは絶対受けるなと言ったけど(笑)。

第一期ラップ隊もやったな。各分団二人で、能代から軍隊でラップ隊やってたって人が週に二回来て。唇だけで、全部の音出すんだよな。鳴らせるまでも大変であった。唇から血が出るくらい練習した。大会があればファンファーレ鳴らしたり、表彰、分列行進、出初式。今はトランペットかもしれないけど、今でもできるくらい覚えでるな。

その他には田植え。みんな並んで手で植えていくんだけど、自分ではできないから、ねっこ(苗)を投げる係だったな(笑)。

あとはPTA繋がりだ。子どもができたし、やっぱり学校があれば、親達で一献かわしながら、みんな若かったし、色んなことやった。運動会や高山登山や地引網や、楽しかった。

### 元気の秘けつ

趣味はものづくり。車庫のログハウスも自分でチェーンソー



筒のみで音変えます(第一期ラップ隊)

で木を切って、一年半くらいかかって。退職して自分の好きなことやりたくって、夢中でやったな。他にも色々作ってる。

ふじさと元気塾は、もともと成陽(成田副町長)と厚雄(石田高山太鼓会長)たちと太鼓やっていたのよ。俺はそれで、ふじさと元気塾に感じて。最初のころは清流を守る会で河川の清掃や草刈りや、そんな事からやってた。黒ニンニクは、ふじさと元気塾でも何か特産品をというんで、やってみている。ポリフェノールは普通のニンニクの十倍。血液サラサラ、美肌効果もある。これを何とかできればな。

段々とみんな歳いってきただけで、藤里町を元気にしようって感じだ。

### 藤里で四十年

あつという間でした。今なんか、藤里来てから勤めてた整備工場退職したし、ゆっくりし

後は今のまま元気で、温泉入って晩酌できて、あと巨人が勝ってっていうのいいな(笑)。今やっている事を若い人達にバトンタッチしていきたいし、若い人も地域の活動に顔出ししたい。元気な町になってほしいな。(聞き手・布川)

### とんじこんじ抄

藤里を元気にする特効薬はあるのでしょうか。人口減少社会が叫ばれ、国は地方創生を最後のチャンスと旗を振っている。過去の例をひけば、地域再生の多くは先進事例の模倣を繰り返し成功はわずかです。まちづくりは真似できない。足元をあきらめず、あわてず、夢を忘れずに。昨年町で講演された菅原一氏の言葉が響きます。(シャケ)

### 編集後記

第2号発行です。いろいろな方にご協力いただいて作っています。先人のアドバイス(↓)も心に留めつつ(ナ)